

概要： ボッシュの AI 倫理指針



BOSCH

ボッシュは AI 製品の開発・活用にあたり、コーポレートスローガン「Invented for life」に基づき、品質と信頼性を重んじるボッシュ・バリューに従って、責任ある行動を取ることを目指します。

2020 年 2 月 19 日
PI 11094 RB Cwi/BT

ボッシュの使命は、お客様が信頼できる AI 製品を作り上げることです。ボッシュ・バリューに基づく行動と、卓越した方法および技術を組み合わせ、その実現を図ります。私たちは「レッドライン(越えてはならない一線)」を定めています。例えば AI によって、個人や人々の生活をいかなる形でも犠牲にすることは決してありません。

私たちは以下の原則を指針とします。

- ボッシュの全ての AI 製品は、社会的責任を持って技術革新を追求する「Invented for life」の精神を反映したものでなくてはならない
- 人々に影響を及ぼす AI の意思決定に関しては、人間が最終判断を下さなくてはならない。むしろ AI は人々のための道具として用いられるべきである
- ボッシュは、安全かつロバストで説明可能な AI 製品の開発を目指す
- 信頼はボッシュの基本的なバリューのひとつである。ボッシュは信頼できる AI 製品の実現を図る
- AI 製品を開発する際は、法的要件および倫理規範に準拠する

AI の活用に関して、ボッシュは以下の基準を遵守します。

- AI 製品および／またはその使用が、世界人権宣言の条項に違反してはならない
- AI は、AI 製品を製造する国の法律に準拠して活用されなくてはならない
- AI 製品は、「We are Bosch」に定められたボッシュ・バリューに従って活用されなくてはならない
- AI 製品はボッシュの精神「Invented for life」を指針としたものでなくてはならない。また、人々の熱意を高め、生活の質を向上し、天然資源を保護するものでなくてはならない

AIによる意思決定に対する3つのアプローチ:

「**Human-in-command**(ヒューマン イン コマンド)」(**HIC**):このアプローチでは、AI製品を道具としてのみ使用します。AIが提示する結論をいつ、どのように使用するかは、常に人間が決定します。人間がタスクを分類するのを助けるシステムがその一例です。

「**Human-in-the-loop**(ヒューマン イン ザ ループ)」(**HITL**):このアプローチでは、AI製品が下した決定に人間が直接影響を与える、または変更を加えることが可能です。

「**Human-on-the-loop**(ヒューマン オン ザ ループ)」(**HOTL**):このアプローチは、意思決定に関係するパラメーターは設計プロセス段階で人間が定めるが、意思決定そのものはAI製品に任せるといふものです。なお人間は、AIによる意思決定に際して、どのような意思決定が実際に行われたかについてのレビューを要求することが出来ます。これにより、意思決定のためのパラメーターを人間が事前に定めるだけでなく、意図した通りに決定が下されたかどうかさかのぼって確認することも可能です。